

令和7年度

神村学園専修学校 学校評価委員会 議事録

令和8年3月14日(土)

於：神村学園専修学校

1. 開会のあいさつ

学校長 神村慎二よりごあいさつ

2. 委員会の趣旨・目的について(黒木副校長)

配布資料に基づき説明。

学校評価の目的、学校評価の形態(自己点検評価、第三者評価、学校関係者評価)、  
学校評価の定義、学校評価により期待される取り組みと効果、学校評価結果の公表、  
等について。

職業実践専門課程について(西山副校長)

配布資料に基づき説明。

### 3, 議事

議長選出・副議長選出

議長：神村慎二 校長

副議長：松ヶ野 透 副校長

#### (1) 自己点検・評価について（黒木副校長）

資料（令和7年度 自己点検・評価報告書）に基づき説明。

説明後、学校長より看護を取り巻く現状について説明する。

#### (2) 各学科より報告と説明

各学科より、入学・卒業者数、国家試験受験者数について。

(理学療法学科) 中森学科長より、上記報告事項、学科の特色について説明。

(作業療法学科) 教務 俵積田より、入学・卒業者数、国家試験受験者数について、

資料に基づき説明。

学生の特徴について、意欲の高い学生と必ずしもそうではない学生

との差があるように感じる。学生数の減少については、SNS 等による誤った情報の拡散も影響があるように思う。

(看護学科) 植屋学科長より、入学・卒業者数、国家試験受験者数について、資料に基づき説明。

国家試験対策について、学生も多様化しており、様々な取り組みが必要。デジタル世代であるため、それを上手く活用できる学習方法の検討が必須である。

(こども学科) 柏木学科長より、入学・卒業者数について、資料に基づき説明。

学科の特性として、子どもが好きという学生が多いが、実際の仕事内容としては、大人との関わりが多い仕事でもあると考えられるため、職員との関わりの重要性を伝えていきたい。

(日本語学科) 大山学科長より、入学・卒業者数について、資料に基づき説明。

JLPT（日本語能力試験）について説明。

#### 4. 質疑・意見交換

(宮内委員)

理学療法学科・作業療法学科の社会人入学者の割合はどれ程か？

理学 中森学科長、作業 教務俵積田より現状について説明。

(植松委員)

AIの普及が著しく、実習も一部タブレット化しているが、神村学園ではどのよ

うな考えや取り組みをしているか？

看護 植屋学科長より、事例を交えて説明。

黒木副校長より、情報を入手するにあたり、その目的は何か？重要性は何か？

について指導することが必要であることを説明する。

## 5. 各学科の次年度の目標について

(理学) 中森学科長より、入学者数の確保、退学者が出ないように、国家試験全員

合格を目標

(作業) 教務 俵積田より、入学者数の確保、退学者が出ないように、国家試験全

員合格を目標

(看護) 植屋学科長より、入学者数の確保、退学者が出ないように、国家試験全員

合格を目標

教員間の情報の共有が重要と考える。

(こども) 柏木学科長より、情報の入手方法や情報との向き合い方について力を入

れていきたい等の説明。

(日本語) 鹿児島県内やいちき串木野市内に残る学生も出てきており、そういった

学生がでるよう指導していく。

## 6. 閉会のあいさつ

副校長 松ヶ野より

今年度は、医療系が特に募集状況としては厳しかった。また、こども学科の募

集については、長期高度人材育成コースについても説明、お願いを行う。今後

ともご指導宜しくお願い致します。